

品目別レポート（真珠）

■品目説明

真珠には天然真珠と養殖真珠があり、海で生産される海産真珠と湖沼や河川で生産される淡水真珠がある。

日本の養殖海産真珠のうちアコヤ貝を母貝とした「アコヤ真珠」は、愛媛県、長崎県、三重県など西日本を中心に生産されているが、中国においても80年代後半から本格的に生産されている。オーストラリア、インドネシアなどの海域では白ちょう貝を母貝とした「白ちょう真珠」、通称「南洋真珠」が、またポリネシア、ミクロネシア海域では黒ちょう貝を母貝とした「黒ちょう真珠」が生産されている。

池ちょう貝などを母貝とした淡水真珠は、日本では霞ヶ浦、琵琶湖周辺などで生産されている。流通している淡水真珠の大部分は中国産で占められ、国産はごくわずかである。

農林水産省「漁業・養殖業生産統計」によると、20年の国内生産量は、前年比18.2%減の1万5,700キログラムだった。

農林水産物・食品の輸出拡大のための輸入国規制への対応等に関する関係閣僚会議にて令和2年11月にとりまとめ、令和3年12年に改訂された「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略～マーケットイン輸出への転換のために～」においては、コロナ禍の状況を踏まえ真珠取引の中心的な流通拠点である香港を経由せずとも中国向けに輸出できるように、品質基準等を策定し、ECによるBtoB取引を促進する必要性が示されている。

■貿易概況

▼表1：日本の真珠（天然・養殖）輸出

（単位：ドル、キログラム、%）

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
香港	263,420,237	24,846	263,977,679	30,191	44,231,530	8,615	△ 83.2	△ 71.5
米国	24,951,886	14,408	16,819,996	15,101	12,503,250	10,851	△ 25.7	△ 28.1
タイ	3,994,138	629	3,895,326	727	4,496,483	687	15.4	△ 5.5
中国	7,302,883	355	7,268,033	332	3,715,091	172	△ 48.9	△ 48.2
イタリア	2,750,594	294	3,104,726	318	1,774,981	202	△ 42.8	△ 36.5
全世界	315,215,316	43,820	305,375,666	48,346	72,697,792	21,467	△ 76.2	△ 55.6

注：対象はHSコード 7101

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

20年の真珠の輸出動向をみると、金額は前年比76.2%減の7,269万ドル、数量は同55.6%減の2万1,467キログラムであった（なお、真珠製品HS7116.10は除いている）。

主要輸出国・地域の動向をみると、1位（金額ベース）の香港は、金額が前年比83.2%減の4,423万ドル、数量が同71.5%減の8,615キログラム、金額で60.8%、数量で40.1%を占めた。2位の米国は、金額が同25.7%減の1,250万ドル、数量は同28.1%減の1万851キログラムだった。3位のタイは、金額が同15.4%増の449万ドル、数量は同5.5%減の687キログラムであった。

■海外事情

●香港

▼表2：香港の真珠（天然・養殖）輸入

（単位：ドル、キログラム、%）

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	79,491,212	62	69,521,314	140	40,567,021	39	△ 41.6	△ 72.1
オーストラリア	48,996,265	3	41,865,975	1	36,028,185	0	△ 13.9	—
インドネシア	51,497,023	28	46,481,979	3	34,248,797	1	△ 26.3	△ 66.7
中国	30,246,520	6	26,270,012	5	14,785,479	1	△ 43.7	△ 80.0
フィリピン	16,179,189	0	14,275,522	0	11,670,579	0	△ 18.2	—
全世界	256,808,262	101	221,035,153	150	176,592,337	45	△ 20.1	△ 70.0

注：対象はHSコード 7101

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

香港の20年における真珠輸入動向（金額）をみると、前年比20.1%減の1億7,659万ドルであった。

輸入相手国の動向をみると、1位の日本が前年比41.6%減の4,056万ドル（シェア22.9%）だった。2位のオーストラリアは、同13.9%減の3,602万ドル、3位のインドネシアは、同26.3%減の3,424万ドルとなり、上位3カ国の合計シェアは、約6割を占めた。

香港は、関税が無税であるほか、貿易取引形態がシンプルで、決済機能や、モノの出し入れなどの面から大きなメリットが得られる市場である。真珠など宝飾に係る大規模な見本市が年間複数開催されるなど、域内および中国向け消費市場としての役割のみならず、在庫機能や第3国との取引といった集積地としてのハブ機能も有している。また、香港で真珠（素材）を加工して製品化したものを、経済貿易緊密化協定（CEPA）を活用し、香港原産地の製品としてゼロ関税で中国へ再輸出できる環境にもある。中国本土からの観光客の購入やインド・中東などへの再輸出も多くみられる。

日本産真珠は、日本独自の四季によって育まれ、他国産に比べて真円に近い球体のものが多く、

色やテリが特に美しいと評価されている。このため、より良質な真珠を求める層を中心に、アコヤ真珠をはじめとした日本産真珠の需要がある。

オーストラリアで養殖されている真珠は、暖かい海域で育つ南洋白ちょう真珠（White South Sea Pearls）である。南洋真珠は粒が大きいことや、自然が作り上げる色と光沢の美しさが特徴で、宝石の女王と呼ばれる。真珠産業の中心地である西オーストラリア州の町ブルームには、19世紀後半に高い技術力を持つ日本人が天然真珠の採捕のために渡来し、現在の隆盛の礎を築いたとされている。真珠養殖はオーストラリアの水産養殖業の中でも古くから行われており、養殖された真珠は主に宝飾に使われている。

●米国

▼表3：米国の真珠（天然・養殖）輸入

（単位：ドル、％）

	2018年		2019年		2020年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	28,046,564	—	18,504,896	—	13,199,867	—	△ 28.7	—
オーストラリア	16,576,500	—	10,213,311	—	9,564,560	—	△ 6.4	—
香港	4,478,212	—	5,481,190	—	9,061,751	—	65.3	—
ポリネシア	9,793,193	—	10,046,578	—	7,461,535	—	△ 25.7	—
中国	29,311,184	—	21,334,390	—	5,509,916	—	△ 74.2	—
全世界	106,503,816	—	80,351,722	—	50,936,847	—	△ 36.6	—

注：対象はHSコード 7101

注：統計は金額のみ。

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

20年の真珠輸入額は前年比36.6%減の5,093万ドルであった（数量は未公表）。主要輸入相手国・地域別にみると、1位の日本が1,319万ドル（同28.7%減）、2位のオーストラリアが956万ドル（6.4%減）、3位が香港で906万ドル（65.3%増）であった。

米国市場の現状としては、日本産真珠が安価な中国産淡水真珠と競合するなど、すべての真珠が横並びで価格競争を強いられており、日本産アコヤ真珠の小売価格が、一般的なチェーンストアで販売されている淡水真珠などよりなぜ高価格であるのかという説明と啓蒙活動が消費者向けに行き届いていないという。日本は真珠産業発展のため、「真珠の振興に関する法律」（平成28年法律第74号）を制定するなど、官民を挙げた輸出促進に取り組んでいる。

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。